

OCFC NEWS

2004年 7月1日号

Vol. 19

大川こども & 内科クリニック

診療体制の変更 —じっくり外来の新設—

来院患者さんが多い日はゆっくりお話が出来ないことがあります。皆様にはご迷惑をおかけし、また不満の原因ともなっていると思います。じっくりお話が出来ないと治療が進まない疾患もあります。こういった状況を改善するために7月より水曜日午後にじっくりお話が出来る『じっくり外来』を始めます。第一、第三水曜日午後2時より6時まで15分ずつ完全予約制で行います。土曜日の午後も不定期に行きます。対象疾患はアレルギー疾患、夜尿症、血液・悪性腫瘍、免疫不全症の患者さんです。何回も感染症を繰り返す患者さん、咳が止まらない患者さんも対象となります。他の病院での治療に関してのセカンドオピニオン外来も含まれます。

以上の疾患に含まれなくともじっくり話が聞きたい方も受付に直接お申し込みください。必要があれば30分の枠もご予約出来ます。5月より試行期間として行っていますが、これまで夜尿症、血液疾患、感染を繰り返す患者さんのご利用がありました。土曜日のじっくり外来

の予定は変わることがあります。予定は院内掲示またはホームページでご確認ください。

内科外来新設

4月中旬より内科専門医師による内科・循環器外来を開始しております。高血圧や不整脈を訴えて来院される成人の方の増加に対応するためです。これにより特にゆっくり受診したい高齢者の方のご希望に添えることと思います。入り口が混雑してしましても内科はゆったりしております。どうぞご利用ください。

水曜日午後も予防接種できます。

水曜日午後2時より4時まで一般診療枠でしたが6月より予防接種・乳児健診・アレルギー疾患の時間にかわりました。予防接種や乳児健診の受診が便利になります。火曜日から金曜日まで同一の診療体制となります。したがってこの時間の小児科・内科の一般診療の予約は出来ません。この時間帯での発熱・咳などの緊急の患者さんの診療は隔離診察室でおこないます。

8月の日曜日は休日診療いたしません。8月7日は休診となります。

診療予約がメールで出来ます

7月1日よりインターネット及び携帯電話のメールから診療予約が出来るようになりました。OCFCのホームページから、あるいは携帯電

話より登録をおこない、予約が可能となります。登録の仕方、ご利用方法は受付あるいはHPをご利用ください。

OCFC ホームページ公開中

OCFCのホームページが4月5日公開されました。毎月の診療予定が詳しく掲載されております。当クリニックの基本姿勢や数々の設備を紹介しております。さらにOCFCメールニュースが新設され、その時々ホットな話題や緊急性のある情報を掲載します。既に5

号まで発行。メディア（テレビ及びテレビゲーム）の悪影響、スポーツドリンクの弊害、インフルエンザ情報などをお伝えしております。近日中にメールマガジンも発行する予定です。URLは<http://www.ocfc.jp>です。是非アクセスしてください。

OCFC INFORMATION

感染症 だより

インフルエンザ最終報告

OCFC でインフルエンザワクチンを受けられた方は3500名 で全例に水銀を含まないワクチンを使用しました。毎年受けるワクチンですから出来たら水銀を含まないワクチンを使用したいものです。今年の10月 からのワクチンも同じ製剤をご用意いたします。インフルエンザを疑い迅速検査した症例は610例、診断はA型291例、B型11例 の302例 でした。全例合併症なく治癒しています。

アデノウイルス猛威を振るう

アデノウイルスの流行は5月に入り滲出性咽頭炎、流行性角結膜炎、咽頭結膜炎、急性胃腸炎の形で発症し、滲出性咽頭炎では5～6 日間の高熱が続いています。4月までは5～7例 であったのが5月は34例、6月も増加中です。このまま夏を迎えプール熱の大流行が危惧されます。抗生剤は原則として必要ありませんが、6日以上熱が続く場合は使用する事もあります。

3月 大流行の感染性胃腸炎4月にはロタウイルスも流行

感染性胃腸炎は3月になって再び急増し290名来院 されました。4月、5月は急減し60名ほどです。白色便のロタウイルス感染症も出現しました。点滴を必要とする症例は少なく内服薬で改善が見られています。頑固な嘔吐のときは髄膜炎や頭部外傷、ソケイヘルニア、咳がひどくて痰を出す等の区別が必要となります。嘔吐が長引くときは必ず医師の診断を受けましょう。

急増する水痘、風疹の流行は免れたか

4月の新学期に入り水痘が幼稚園・保育園単位で流行中です。4月19名、5月28名 です。水痘は抗ウイルス薬を飲まなくても自然に治る病気ですが約9割の方が内服を希望されています。抗ウイルス薬を使用して消えるように水疱が消失すると抗体が出来ていないときがあり、予防接種が必要になります。また発症して3日を過ぎると薬は無効のことが多いようです。軽く済ませて抗体を獲得するこれがポイントです。埼玉県などで流行の兆しが現れた風疹ですが疑わしい症例は5例で風疹の抗体が上昇していた症例は1例だけでした。その後の出現はありませんのでどうやら流行はなかったようです。

溶連菌の流行

溶連菌は相変わらず流行中です。3月47名、4月27名、5月29名 です。再発する症例も多く、再発時にはペニシリンからセフェム系の薬に変えざるを得ないときがあります。セフェムでは7日間投与が標準です。

6月に入り伝染性紅斑(リンゴ病)手足口病が増加中です。そろそろヘルパンギーナも発病しそうな状況です。マイコプラズマ肺炎は今年が流行のとしです。高熱と咳が続くときはマクロライド系(クラリス・ジスロマック等)の抗生剤を早めに服用しましょう。それにしてもマクロライド系の薬剤はまずいですね。OCFC では看護婦から飲むコツを教えてください。

ウサギのママ だより

皆様のご利用で病児保育室うさぎのママはフル回転です。3月まで定員4名で稼働し3月は63名のご利用でした。4月からは定員は6名になり、4月96名、5月76名です。ご利用される病児の年齢は1歳代、0歳代、その後は年齢とともに減少されています。ご利用出来ない方もいらっしゃるようで大変申し訳なく思います。今後は職員を増員して定員8名で運営の予定です。多くの皆様に御利用いただきたく、病気が治ったりしての当日のキャンセルは8時までお願いいたします。8時を過ぎますとキャンセル料を頂くことがあります。

一口メモ

抗利尿ホルモン

下垂体(頭の中心にある臓器)後葉から分泌されるホルモンの1つ。尿量を調整している。このホルモンが少ないと尿崩症といって尿が大量に出る病気となります。多すぎると体に水がたまって水中毒となります。夜尿症ではこのホルモンを少量使用することで尿量を調整して治すことになります。

病診連携

関連病院施設にお願いした患者さんは3月26名、4月21名、5月17名の64名でした。検査依頼は8例、外来診療は46例、入院依頼は10例でした。検査依頼は東京医科歯科大学での大川の外来に2名、神経外来に2名、東邦大学に1名脳波検査をお願いしました。

入院依頼の10名は小児では国際東京医療センターに脱水で1名、東邦大学小児科に肺炎3名、川崎病2名、脳外科に頭部打撲1名、荏原病院小児科に肺炎1名、社保蒲田総合病院に肺炎1名、成人では慢性閉塞性肺疾患で東邦大学呼吸器科に1名でした。外来はソケイヘルニアを東京医科歯科大学小児外科2名、日赤医療センター小児外科に2名、昭和大学小児外科に1名紹介しそれぞれ後日手術しております。また小児の下顎の正中のう胞は東京医科歯科大学小児外科で手術予定です。そのほか耳鼻科領域では田村耳鼻科、小林耳鼻科、大塚耳鼻科、池上耳鼻科、堀耳鼻科、光吉耳鼻科に眼科疾患は下丸子眼科に、下肢靭帯損傷は上田整形外科に紹介しました。成人では日赤医療センター消化器外科、石井メンタルクリニック、東邦大学心療内科などにご紹介しました。

処置室 コーナー

点滴は流行した感染性胃腸炎による脱水のため3月は52名と増加、4月は26名、5月17名と徐々に少なくなりました。検査はインフルエンザはなくなりアデノウイルス検査が5月は62名と増加、溶連菌検査は3月103名、4月、5月は50名の方に検査しております。鼻洗浄は毎月150名前後1日6名に施行しております。処置総数は3月861名、4月634名、5月566名と落ち着いてきております。

院長のサイエンティフィックアクティビティ(Scientific activities)

4月8日から11日まで岡山市で日本小児科学会が開かれ出席しました。この学会ではテレビやテレビゲームのやりすぎが子供の発達に悪い影響を与えていることが重要なテーマのひとつとなっていました。長崎の小学校6年生による事件を考えるとテレビゲームが如何に罪深く、それを作成している人々の責任は重大というほかはありません。5月は東京医科歯科大学の歯学部での小児科の講義がありました。7月は東邦大学と東京医科歯科大学の医学部の学生実習があります。よろしかったらご協力ください。

診療時間

栄養相談の予約:代表電話で直接予約ください。
大田区の各種健康診査は火・木・金の午後2:00~4:00にお越しください。検査希望の方は代表電話にて直接予約してください。

曜日	8:30~12:00	14:00~16:00	16:00~18:00
月	小児科・内科(院長)	小児科・内科(院長)	
火	小児科・内科(院長)	乳健・予接・ア・慢	小児科・内科(院長)
水	小児科(院長)	乳健・予接・ア・慢	小児科(富沢)
	内科・循環器(上田)	1・3水 じっくり外来(院長)	
木	小児科・内科(院長)	乳健・予接・ア・慢	小児科・内科(院長)
金	小児科・内科(院長)	乳健・予接・ア・慢	小児科・内科(院長)
土	小児科・内科(院長)	乳健・予接(1時~2時)	小児科(荒木:2時~3時)
	1・3・5土 小児科循環器(佐々木)	1土 神経発達(荒木1時~3時) じっくり外来(院長:不定期)	
	2・4土 アレルギー(大柴)	栄養相談(関)(乳幼児、生活習慣病)	
日曜・祝日	9時~12時 休日診療・予接(院長・荒木・佐々木)		

乳健:乳児健診、予接:予防接種、ア:アレルギー疾患、慢:慢性疾患、栄養相談の予約:代表電話で直接予約ください。
●毎週日曜日午前予防接種しております(要予約) ●土曜日のじっくり外来の予定は受付またはホームページでご確認ください。

■ 電話予約サービスコード

項目	サービスコード	項目	サービスコード	項目	サービスコード	項目	サービスコード
小児科一般	11#	乳幼児健診	16#	2種混合	22#	日本脳炎	28#
内科一般	12#	健康診断	17#	麻疹	23#	その他	29#
アレルギー/慢性疾患	13#	確認	20#	風疹	24#		
隔離感染症	14#	取消	30#	水痘	26#		
予防接種	15#	3種混合	21#	おたふくかぜ	27#		

予約の空き情報は40#でご案内いたします。予防接種(15#)を押した方はさらにサービスコードで希望される項目を指定してください。サービスコードの確認を、よろしければ0# 誤っていれば1#で行ってください。

院内設備・機器

院内設備:隔離感染症室、電話/インターネット自動予約機(24時間対応)、空気清浄装置(臓器移植にも対応できる)(3台)オゾン空気清浄・防臭装置(2台)電解水発生装置、消毒用専用スプレー
検査機器:レントゲン装置、自動解析装置付心電計、自動血球分析器、CRP/ASO測定機、自動検尿器、電子スパイロメーター、血糖測定器、経皮酸素分圧モニター、24時間酸素分圧モニター、聴力検査機器、心電図モニター、チンパノメトリー、アトムネオテーブル

患者さん 質問箱



Q

子供のことでお尋ねします。私の子供は今年で小学校2年生になりますがまだ毎日おねしょがあります。本人も気にしているようですが一向に直りません。OCFC ではおねしょ外来を始めたそうですがどんな治療が受けられるのでしょうか。

(毎日の布団干しで腕が上がりなくなってきた母)

A

OCFC では4月からじっくり外来を開設しまして患者さんやご両親とじっくりお話をする時間を設けました。その中の一つとして夜尿症(おねしょ)外来があります。今日はそのおねしょの話をしましょう。おねしょとは何でしょう。寝ているままで排尿することです。赤ちゃんでは普通で、2歳ごろから少しずつなくなります。よく無理やり起こして排尿させますが、完全に起こさないでおしっこをすることはトイレでもおねしょと同じです。このおねしょは6歳までは普通にあります。小学校上がる前のおねしょはそんなに気にすることはありません。10歳で7%、15歳で1%といわれています。それ程珍しいことではありません。あんまりみんなに言わないだけです。自分たちだけで悩まないでください。

ではどうしておねしょするのでしょうか。簡単です。オシッコが膀胱に入りきらないためです。つまりオシッコが多すぎるか、膀胱が小さすぎるかです。前者を大量夜尿型、後者を膀胱機能未熟型といいます。2つとも原因になる混合型もあります。このタイプわけはオシッコの量と濃さを測ることでおこないます。OCFCに受診されれば計画的に検査しますのでご安心ください。

治療は生活指導と薬物療法に分かれます。まず生活指導。生活指導の基本は「起こさず、焦らず、叱らない」です。本人は気にしているものです。気にしている子供にプレッシャーをかけないことです。おねしょは決して珍しいことではないこと、そしてそのうち直ると信じて通院してください。水分制限は基本です。午前中にたっぷり水分をとって午後は制限、夕食後は水分摂取を出来るだけ控えましょう。お昼のうちは尿意があっても出来るだけ我慢する膀胱訓練が役立ちます。これは膀胱機能未熟型に有効です。こういった生活指導を守るだけでもだいぶ役立ちます。

薬物療法は内服薬と点鼻薬があります。大量夜尿型には抗うつ剤の一部のお薬(トフラニール等)が効くこともあります。また膀胱機能未熟型では膀胱の機能を調節するお薬(ポラキス等)が効くことがあります。これらのお薬は夜寝る前に1回服用します。大量夜尿型ではデスマプレッシン(DDAVP)の点鼻も有効です。外国ではこれが一番多く使用されているようです。寝る前に鼻腔に1~2回噴霧します。点鼻ですので鼻炎のある方では効果が出にくいこともあります。この薬はオシッコの生成を抑制する抗利尿ホルモンでその作用により尿量を少なくして夜尿を防ぎます。この薬の使用中は水分の過度な摂取は控えます。一番大切なことはいつか必ず治ることを忘れないで気楽にあせらず怠けず生活することです。

(OCFC院長)

医療法人社団 オー・シー・エフ・シー(OCFC)会

OCFC

Ohawa Children & Family Clinic

大川こども&内科クリニック

小児科・内科・アレルギー科 (併設 病児育児室 うさぎのママ)

東京都大田区多摩川1-6-16

院長 大川 洋二

診療時間月~金 午前 8:30~12:00 午後 2:00~6:00

土 午前 8:30~12:00 午後 1:00~3:00

(日曜・祝日休診) 駐車場五台あり

予約専用 03-3758-0099 代表番号 03-3758-0920

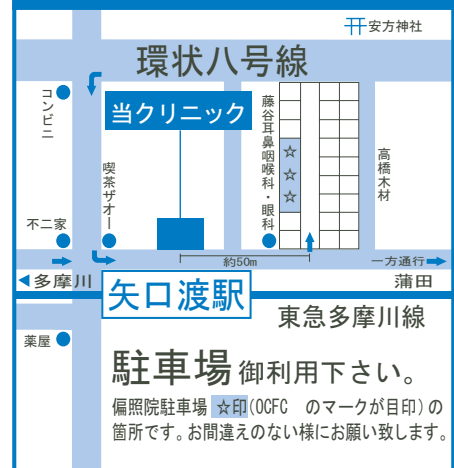
E-mail: info@ocfc.jp URL: http://www.ocfc.jp

うさぎのママ お問い合わせ

直通電話 03-3758-0066

E-mail: usagimama@ocfc.jp

案内図



東急多摩川線矢口渡駅前